

「アートと環境の未来・山口」
Y C A M 10 周年 記念 祭

2013年10月17日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭
展覧会

坂本龍一

「ART-ENVIRONMENT-LIFE (アート・エンヴァイロメント・ライフ)」

2013年11月1日(金)ー2014年3月2日(日) 10:00ー19:00 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA、スタジオB、ホワイエ

YCAM10周年記念祭を総括する、坂本龍一の大規模展覧会

坂本龍一×高谷史郎の新作を含む3つのインスタレーションを同時公開

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAM10周年記念祭の一環として、10周年記念祭のアーティスティック・ディレクターを務める音楽家の坂本龍一の展覧会「ART-ENVIRONMENT-LIFE (アート・エンヴァイロメント・ライフ)」を開催します。

本展では、坂本とアーティストの高谷史郎が山口に滞在し、YCAM InterLabとのコラボレーションのもと制作した3つのインスタレーションを発表します。霧に投影される映像とそれに融合するサウンドが、環境への感覚を開く「LIFE-fluid, invisible, inaudible... (ライフ・フルーイド・インビジブル・インオーディブル) Ver.2」。世界各地の樹木の生体データからサウンドを生成する「Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー)」。「水」が見せる複雑な変化を抽出することで新たな空間を創出する新作「water state 1 (ウォーター・ステート・ワン/水の様態1)」。

いずれの作品も10周年記念祭のテーマである〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉に対する坂本の問題意識が強く反映されており、観る者の内部に繊細な感性の揺らぎを喚起させ、過去から未来へ向けた思考の連鎖をもたらすものです。この機会にぜひご鑑賞ください。



「Forest Symphony」(2013年/YCAM委嘱作品)



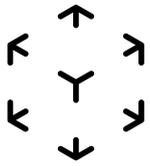
参考作品「LIFE-fluid, invisible, inaudible」(2007年/YCAM委嘱作品)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中・澤田
TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 メールアドレス:press@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉を巡る坂本龍一の思考と実践



坂本龍一（写真：田邊アツシ）

私たち人類は、文明の上に成り立つ都市空間と、周囲の自然が織りなす豊かな循環のもと、安定した日常を過ごしています。しかし、そうした日常は予期せぬ自然の猛威によって、もろくも瓦解してしまう一甚大な被害をもたらした2年前の東日本大震災は、そうした可能性と私たちが常に隣り合わせであるということを、改めて気づかせてくれたと同時に「いま、環境とは何か？」といった問いを、等身大の視点から立て直すきっかけにもなりました。

このような問いを受けて、YCAMと10周年記念祭のアーティストック・ディレクターを務める音楽家の坂本龍一が、未来の芸術表現のビジョンを描き出すべく策定した10周年記念祭のテーマが〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉です。このテーマの背景には、震災以前から様々な環境／平和／社会問題について積極的に言及し、具体的な取り組みをおこなってきた坂本の「自然をより深く知ることから、これからの文明やアートが生まれるはずだ」という強い思いがあります。

YCAMはこのテーマに基づき、7月から10周年記念祭として様々なイベントを展開してきましたが、その締めくくりとして、坂本自らの作品を発表する展覧会「ART-ENVIRONMENT-LIFE」を開催します。展示する3つのインスタレーションはいずれも坂本とアーティストの高谷史郎、YCAM InterLabとのコラボレーションにより制作されるもので、水や霧といった物質を通じて、自然と情報化が進展する人間社会との対話を、新たな視点から構築する試みとして構想されています。

■ 坂本龍一

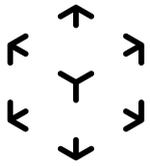
音楽家。1952年生まれ、米国ニューヨーク州在住。78年『千のナイフ』でデビュー、同年YMOに参加。YMO散開後、数々の映画音楽を手がけ、作曲家として米アカデミー賞を受賞するなど世界的な評価を得つつ、常に革新的なサウンドを追求している。2007年には「more trees」を設立し、温暖化防止についての啓蒙や植樹活動をおこなう。11年東日本大震災復興支援プロジェクトとして、「LIFE311 by more trees」「こどもの音楽再生基金」「www.kizunaworld.org」を立ち上げるなど、さまざまな活動を続けている。

■ 高谷史郎

1963年生まれ。84年、アーティストグループ「ダムタイプ」の創設時から活動に参加。ビジュアルワークを総合的に担当し、現在はディレクションに関わる。主な個人の活動としては、99年に坂本龍一のオペラ『LIFE』の映像を担当。2007年に坂本龍一とのコラボレーションによるインスタレーション『LIFE - fluid, invisible, inaudible...』を制作。08年にはパフォーマンス『明るい部屋』を、また12年にはパフォーマンス『CHROMA』を発表。

■ YCAM InterLab

山口情報芸術センター [YCAM] に附属する研究開発チーム。主にYCAMが委嘱作品として発表するインスタレーション作品やパフォーミングアーツ作品などの技術的な開発をおこなっている。また、これに関連してメディアテクノロジーを芸術表現へ応用するための研究もおこなっており、国内外から研究者を招聘する共同研究などにも積極的に取り組んでいる。



展示作品1: 坂本龍一＋高谷史郎「LIFE-fluid, invisible, inaudible... Ver.2」(YCAM委嘱作品)



参考作品「LIFE-fluid, invisible, inaudible...」(2007年/YCAM委嘱作品)

「LIFE-fluid, invisible, inaudible... (ライフフルード・インビジブル・インオーディブル)」は、坂本とアーティストの高谷史郎とのコラボレーションにより制作されたインスタレーション作品で、2007年にYCAMでの滞在制作を経て発表されました。YCAMでの発表後、国内外で巡回展示を重ねており、本展では新たな要素を加え、大幅にリニューアルした新バージョンを公開します。

ノンリニアな〈共生系〉に向けて

本作は、闘争と分裂の時代であった20世紀の総括と、21世紀に向けた共生のビジョンの提示を試みた坂本龍一のオペラ作品「LIFE」(1999年)を解体／再構築するかたちで制作されたインスタレーション作品です。

会場の中空には、内部を人工の霧で満たされた9つの水槽が宙吊りにされており、霧をスクリーンにオペラで使用された映像が次々と投影されます。さらにこの映像に呼応するかたちでサウンドが上方から降り注ぎ、刻々と姿を変える映像とともに、同期と分散を繰り返しながら複雑に交錯。観客は移ろいゆく光と音に身を委ねながら、環境へと徐々にその感性を開いていくこととなります。

本展では、新たに東日本大震災以降の人間と自然との共生についてのビジョンを描いた映像とサウンドを追加し、新バージョンとして発表します。また、これに合わせてオペラと、2007年の前バージョン、そして10月22日に開催する舞台公演「LIFE-WELL」の記録映像も展示します。

■「LIFE」

朝日新聞創刊120周年記念とテレビ朝日開局40周年記念を記念して発表された坂本龍一の初のオペラ作品。本作には、映像担当として高谷史郎が参加していた。

1999年9月4日～5日：大阪城ホール

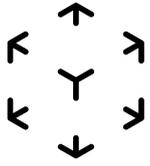
1999年9月9日～12日：日本武道館

■「LIFE-WELL」

「LIFE-fluid, invisible, inaudible... Ver.2」を舞台に展開する舞台公演。野村萬斎をはじめとする現代音楽界の担い手たちと、坂本龍一、高谷史郎がコラボレーションをおこなう。

2013年10月22日(火) 14:00 / 19:00開演

※詳細はフライヤー、10周年記念祭の公式ウェブサイトをご確認ください。



展示作品2: 坂本龍一+YCAM InterLab 「Forest Symphony」(YCAM 委嘱作品)



坂本龍一+YCAM InterLab 「Forest Symphony」(2013年/YCAM 委嘱作品)

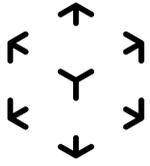
「Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー)」は、坂本とYCAM InterLabのコラボレーションにより技術開発を進めたアートプロジェクトで、ここから派生したインスタレーションとウェブコンテンツを、本展に先駆け2013年7月から公開しています。

森が奏でる交響曲 (シンフォニー)

東日本大震災の後、坂本は〈人類が生きる環境〉を支える森林へと意識を向けるべく、樹木が発する微弱な生体電位を元に楽曲を制作するというアートプロジェクトを構想しました。そのプロジェクトにYCAM InterLabが参画し、インスタレーションやウェブコンテンツとして展開したものが「Forest Symphony」です。

本プロジェクトでは、YCAM InterLabが樹木の生体電位を計測し、ネットワーク経由でサーバーに集積するセンサーデバイスを開発。世界各地の樹木にそれを設置し、生体電位を収集しています。そして、集められた樹木のデータにもとづき、会場を包み込むサウンドを生成するとともに、アーティストの高谷史郎のビジュアルディレクションのもと、生体電位の変化や、センサーデバイスが設置された環境の情報を視覚的に表現。これらをサウンドインスタレーションとして空間的に統合し、季節や天候に応じて変化を続ける〈森のような空間〉を現出させます。

また本展のウェブサイト上では、展覧会のスタートとともに、会場に流れるサウンドや、生体電位のデータを視聴できるウェブコンテンツも公開しています。



展示作品3: 坂本龍一+高谷史郎「water state 1 (水の様態1)」(2013年/YCAM委嘱作品)



「water state 1」(2013年/YCAM委嘱作品)

「water state 1 (ウォーター・ステート・ワン/水の様態1)」は、坂本と高谷のコラボレーションによって制作されたインスタレーション作品で、本展が世界初公開となります。

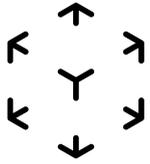
水が見せる多様な様態をメディアテクノロジーで抽出する

水は温度によって氷、水、水蒸気と、その様態を変える。水が作り出す雨、雲、霧、雪、海、河、湖、滝、冰山、氷河などの自然現象は、どれをとっても、いつまで眺めていても飽きることはない。

また、この惑星の表面積のおよそ7割が水に覆われ、私たちの身体の7割が水でできており、生命の源でもある。

—— 坂本龍一

生命を支える根源的な物質であり、状況に応じて様々なかたちに姿を変える「水」。坂本はかねてから水に対して強い興味を示してきましたが、一方で作品のモチーフとして扱うことに困難を感じていたともいいます。しかし今回、新作の構想を進める中で、水そのものを素材とする可能性について考えを深めるようになり、YCAM InterLabが大量の水滴を自在に落下させることができる装置を開発。これによって、水が見せるさまざまな表情を、間接的に表現するのではなく、水そのものを使って表現する可能性が生まれました。本作ではこの装置を用い、水滴と水面の複雑な変化を生み出すとともに、その様相をサウンドへと反映。視覚と聴覚の調和とコントラストが観る者に多様な記憶を喚起させていきます。



「アートと環境の未来・山口」
「YCAM 10周年記念祭」

2013年10月17日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭
展覧会

開催概要

坂本龍一「ART—ENVIRONMENT—LIFE」

2013年11月1日（金）—2014年3月2日（日） 10:00—19:00 入場無料

休館日：火曜（祝日の場合は翌日）、12月29日—1月3日

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA、スタジオB、ホワイエ

※「Forest Symphony」は好評につき、展示期間を延長いたします。

※1月4日（土）、5日（日）はイベント開催準備のため「LIFE-fluid, invisible, inaudible Ver.2」は閉鎖いたします。ご了承ください。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

平成25年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

助成：公益財団法人花王芸術・科学財団

協賛：SHISEIDO

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

アーティスト・トーク

2014年1月5日（日） 13:00—14:00

出演：坂本龍一、高谷史郎 モデレーター：浅田彰

会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

※後述のコンサートのチケット購入者のみ入場可能

スペシャル・コンサート

2014年1月5日（日） 14:30開演

出演：坂本龍一、宮田まゆみ

会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオA

※入場料、発売日およびチケット購入方法については、右欄をご確認ください。

ギャラリーツアー

「LIFE-fluid, invisible, inaudible... Ver.2」:

12月7日（土）、1月11日（土）、2月8日（土） 各日 15:30-

「water state 1」:

11月9日（土）、30日（土）、12月7日（土）、21日（土）、1月11日（土）、25日（土）、2月8日（土）、22日（土） 各日 14:30-

「Forest Symphony」:

11月9日（土）、23日（土・祝）、30日（土）、12月21日（土）、1月25日（土）、2月22日（土） 各日 15:30-

会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ集合 参加無料

野村萬斎+坂本龍一+高谷史郎「LIFE - WELL」

10月22日（火）14:00開演 / 19:00開演（30分前開場）

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

※入場料、発売日およびチケット購入方法については、

当該事業のフライヤーまたはYCAM10周年記念祭公式ウェブサイトでご確認ください。

「LIFE-fluid, invisible, inaudible... Ver.2」の作品空間内で、野村萬斎を始めとする現代能楽界の担い手たちと、坂本、高谷のコラボレーションを展開します。

コンサートチケット情報

発売日:

any会員先行予約 11月3日（日）

一般発売 11月9日（土）

料金：[全席指定]

前売 一般 3,000円

any会員 / 特別割引 / 25歳以下

2,500円

当日 3,500円 ※当日は各種割引対象外

※未就学児入場不可

※特別割引：シニア（65歳以上）、障がい者及び同行の介護者1名が対象

電話 / 窓口:

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111

10:00-19:00 ※火曜休館、祝日の場合は翌日

インターネット:

www.ycfcp.or.jp

24時間受付 ※要事前登録

託児サービス

対象：0才（6ヶ月）以上

託児時間：開始30分前から終了30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：12月28日（土）までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください